

2025 年 9 月 4 日

課題名：急性膿胸に対する大量生理食塩水による胸腔内洗浄の有効性の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、急性膿胸の胸腔内洗浄法について生理食塩水の有効性を調べています。本研究では、胸腔内洗浄法による予後改善を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021 年 3 月から、2023 年 3 月までの間に、肺炎の前向きレジストリー研究に登録され、急性膿胸であると診断され胸腔ドレナージ術が施行された 18 歳以上の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

- 年齢、性別、基礎疾患
- Performance Status
- バイタルサイン(意識レベル、体温、脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度)
- 血液検査所見(ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数、総タンパク、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、BUN、Cr、Na、CRP)
- 胸水検査所見(胸水 pH、糖、LDH)
- 起炎菌(血液培養、胸水培養、喀痰培養)
- 胸腔内感染症スコア(RAPID スコア)
- 入院期間
- 入院後の治療内容(胸腔ドレーン抜去までの期間、胸腔ドレーンの追加、外科手術の有無)
- 30 日死亡、院内死亡

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025 年 11 月 151 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)等からの情報を利用します。

---

\* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

- \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承くださいない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 伊藤 明広

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明